

平成30年度研究推進支援プロジェクト研究成果報告書

1. 研究の概要

プロジェクト名	福岡における筑前琵琶の伝承と創造をめぐる基礎的調査		
プロジェクト期間	平成30年度		
申請代表者 (所属講座等)	山本 百合子 (音楽教育講座)	共同研究者 (研究協力者)	寺田 蝶美 (学外；筑前琵琶奏者) 前原 恵美 (学外；東京国立文化財研究所) ドリアーノ・スリス (学外；琵琶制作修復師)
取組方法・取組実績 の概要	<p>本プロジェクトでは、福岡を発祥地として、明治後半期から大正期、昭和期前半にかけて地元福岡と東京とに大変な流行をもたらしながら、平成期には伝承者の激減した筑前琵琶の生成と流行の経緯について、地元で未発掘の資料や、演奏技術および楽器制作技術の伝承者への取材を通じて調査し、地域社会の社会活動と密接に関係しながら展開した近世語りもの音楽のひとつである筑前琵琶の実態と今後の伝承の可能性を探ろうとする。</p> <p>単年度の本プロジェクトの中では、(1)稀少ながらもいくつか散見できる、筑前琵琶の生成と流行にまつわる先行研究の確認、(2)現在福岡を拠点に実演と伝承そして創作活動に精力的に従事している筑前琵琶奏者寺田蝶美氏へのインタビューや寺田氏所蔵の昭和期から平成期の福岡における筑前琵琶保存会の諸活動の記録資料の閲覧、(3)東京国立文化財研究所の研究員の協力のもと、技術伝承が途絶える寸前の危機にある琵琶制作修復技術の保護も視野に入れた、福岡市博物館所蔵の琵琶(楽器)の熟覧調査、(4)福岡で唯一筑前琵琶の楽器制作および修復の専門的技術を伝承している技術者へのインタビューとその工房の取材、(5)筑前琵琶保存会が地元福岡の晴れの場で華やかに活動をする博多どんたく参加行事への参加と取材、といった作業により、筑前琵琶の現状と背景の確認に取り組んだ。</p>		
研究成果の概要	<p>(1)の先行研究の確認を通じ、筑前琵琶の発祥や展開の背景にある、地方都市に特徴的とも言える地域芸能のあり方や役割、芸能をめぐる人の交流や時代背景、特に流行期には高い演奏技術や演出・創作能力のある複数の人材の出現といった経緯を確認できた。(2)の現在少数ながらも福岡地域で活躍している実演家やその指導者の活動歴やエピソードの調査からは、特に演奏や創作の技能の高さだけでなく、演出や興行の実践力の高さと音楽芸能界以外からの支援者・協力者の多さが筑前琵琶の伝承全体を支えてきていることも特徴であることが確認できた。(3)の福岡市博物館所蔵の文化財熟覧を通じては、所蔵されている筑前琵琶の多様な形態や素材等から、筑前琵琶の上演や享受も非常に多様な形で行われた可能性が推察されて、さらなる調査研究の必要性を確認できた。(4)福岡で唯一楽器の制作修復技術をもつ制作修復師へのインタビューと工房取材からは、琵琶という楽器が、芸能の生成展開の中でどのような時代の影響を受けたか、時代背景が楽器の素材や形状に大きく影響することや、楽器制作修復における重要な技術や知識、それを伝承する上でどのような条件が必要か等も確認することができた。(5)筑前琵琶保存会の博多どんたく参加行事への参加と取材を通じては、筑前琵琶演奏の具体的な演奏技法や技法伝達手段の体験、地域行事の中での琵琶楽の役割の体験などを通じて、筑前琵琶の芸能としての特性や今後の伝承における課題や可能性について、本学学生の体験活動を促しながら教育的視点からも検討することができた。</p>		
外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法等について〔 <input type="checkbox"/> (該当事項) にチェック願います。〕			
外部資金獲得 申請 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金 <input type="checkbox"/> 受託研究費 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (FFAC ステップアッププログラム)	研究成果の 公表方法 (予定を含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 学会(国内)：東洋音楽学会例会での発表 <input checked="" type="checkbox"/> 雑誌論文：ミクストニュース(投稿済) (愛知県芸音楽学コース研究紀要) <input checked="" type="checkbox"/> その他：レクチャーコンサートの企画実施